

◆ 国道18号

TAKADA KAWAKOKU

Route 18

上新バイパス

至長野



至直江津

上箱井交差点から長野側を望む

TAKADA KAWAKOKU



ROUTE18 joshin bypass

事業の目的

国道18号は、上越市と高崎市とを結ぶ本州横断幹線であり、かつては「北国街道」として親しまれ、上越地方においては縦断幹線である国道8号と共に、産業・経済の動脈として重要な役割を果たしています。

近年、朝と夕方を中心に混雑が発生しているほか、走行速度低下に起因した死傷事故も発生しています。

また、この地域は全国でも有数の豪雪地帯として知られており、従来の国道（現県道上越・脇野田・新井線等）は幅員がせまくしかも沿道市街地には家屋が密集しているため、冬期間の除雪作業が非常に困難で、しばしば交通止めという事態が発生していました。

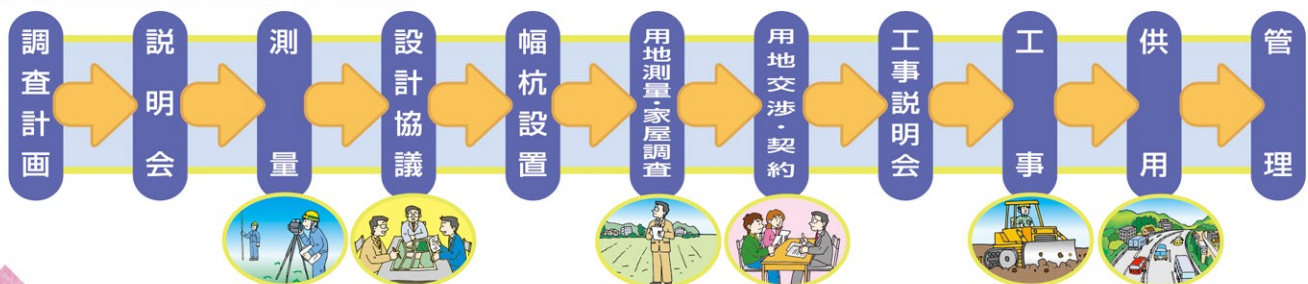
上新バイパスはこれらの交通のあい路を開き、上越地域の道路網における基幹的な役割を果たすと共に、通過交通を適切に処理し、上越地域全体の発展に寄与するため、計画されたものです。

事業の経緯

	11工区			10工区			9工区		8工区			7工区								
	下 源 入	三 田 岡	富 岡 寺	四 ヶ 所	鴨 島	今 池	岡 原	寺 町	乙 吉		志		藤 沢	市 屋						
計 画 調 査	S.46~S.47																			
実 施 調 査	S.48~S.49																			
ル ー ト 発 表	S.49.4.19						S.50.4.23													
都市計画決定年月日	S.50.10.24						S.52.11.4		S.57.6.25				S.58.12.9							
用 地 着 手	S.57	S.54	S.50	S.52	S.53	S.52	S.53	S.53	S.54	S.55	S.51	S.53	S.50	S.59	S.61	S.62				
工 事 着 工	S.58	S.56	S.55	S.53	S.54	S.53	S.57	S.56	S.54	S.55	S.56	S.53	S.54	S.61	S.62	S.63	S.63			
道路区域決定年月日	S.58.10.28	S.55.1.17	S.52.11.9	S.53.12.7					S.52.11.9				S.62.7.13							
2 車 供 用	S.58.10.28					L=7.0km		S.57.11.2	L=4.3km		S.61.10.24	L=1.7km		S.62.9.28	L=3.8km		H.元.11.1	L=3.9km	H.3.7.30	L=2.2km
4 車 供 用	S.60.10.30	L=1.9km	H.11.12.22	L=2.2km	H.17.12.26	L=2.8km	H.21.12.25	L=1.2km	H.25.12.25	L=1.7km	R.3.12.1	L=1.8km	S.63.10.13 L=0.6km							
交差点立体化	H.13	S.58	H.2	S.63	H.9			H.6	S.61	H.3										

道路のできるまで

調査から工事、管理までの順序



計画の概要

1.路線名	国道18号(上新バイパス)
2.起点・終点	新潟県上越市中郷区市屋～新潟県上越市大字下源入
3.延長	L=24.6km
4.構造規格	第3種第1級 ○設計速度 V=80km/h ○最小曲線半径 R=800m ○最大片勾配 4% ○最急縦断勾配 i=4% ○車線数 4車線
5.標準幅員	上越市：21.0m 【2.0+7.0+3.0+7.0+2.0】 側道：6.5m 【4.5+2.0】 妙高市・上越市中郷区：28.0m 【3.5+2.0+7.0+3.0+7.0+2.0+3.5】 橋梁部(L=100m以上)：24.5m 【2.5+1.25+7.0+3.0+7.0+1.25+2.5】

◆ 上新バイパス4車線化により期待される整備効果

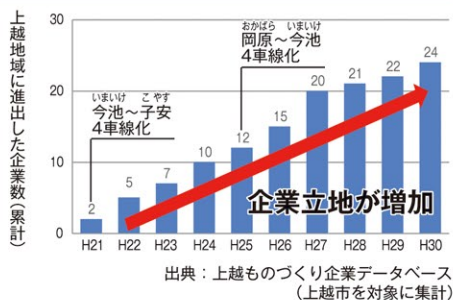
効果1 地域産業の更なる活性化を支援

- 上越地域では、年間約2件(H21～H30)のペースで企業が進出しており、製造品出荷額も増加傾向にあります。
- 上新バイパス周辺にも工業・産業団地が多数立地しており、4車線化整備により更なる企業の進出・物流の効率化が期待されます。

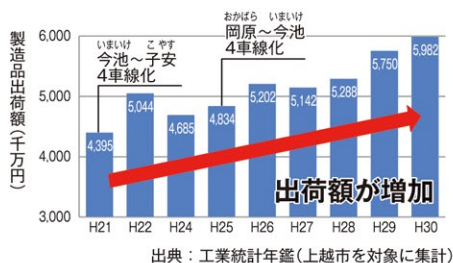
過去10年間(H21～H30)で上越地域に進出した企業



上越地域への進出企業数



製造品出荷額の推移



効果2 緊急輸送道路の信頼性向上

- 上新バイパスは、道の駅「あらい」など、上越地域の防災拠点を上信越道とのダブルネットワークでつないでいます。4車線化整備により、道路ネットワークの強化が図られ、平常時・災害時を問わない安定的な交通を確保します。



降雪時の交通障害発生状況

(かみほこい 上箱井交差点付近)



※写真：令和2年12月撮影

防災拠点：行政機関、公共機関、主要駅、港湾、ヘリポート、災害医療拠点、自衛隊など
(出典：新潟県緊急輸送道路図)



道の駅「あらい」について

- 道の駅「あらい」は、妙高市の地域防災計画において「輸送拠点及び地域住民・観光客の避難拠点」として位置付けられています。
- 令和2年7月には、地域振興や防災機能強化等を目的に整備された拡張エリアがオープン。
- 令和3年6月には新潟県唯一の「防災道の駅」に選定。広域的な防災拠点としての機能が期待されます。